

## NEWS RELEASE

各位

2026年3月16日

三井住友カード株式会社  
CCCMKホールディングス株式会社  
PayPay株式会社**「Vポイント」と「PayPayポイント」の相互交換を3月24日より開始  
～それぞれの強みを活かし、ポイント活用の自由度と利便性がさらに向上～**

三井住友カード株式会社（所在地：東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 CEO：大西幸彦、以下「三井住友カード」）、CCCMKホールディングス株式会社（所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長兼CEO：高橋 誉則、以下「CCCMKHD」）、PayPay株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役 社長執行役員CEO：中山 一郎、以下「PayPay」）は、2026年3月24日（火）より、「Vポイント」と「PayPayポイント」の相互交換を開始することをお知らせします。

PayPayアプリからV会員のアカウント連携を行うことで、両ポイントを等価（Vポイント1ポイント＝PayPayポイント1ポイント）で相互に交換できるようになります。本取り組みにより、両者のポイントサービスの強みを相互に活かし、ユーザーはライフスタイルや利用シーンに応じて、より柔軟で自由なポイント活用が可能になります。なお、「PayPayポイント」が他社ポイントと相互交換を行うのは今回が初めてとなります。



国内キャッシュレス業界を牽引する「三井住友カード」と、ユーザー数7,300万（※1）を超え、国内のコード決済市場でNo.1のシェアを占める「PayPay」が連携することで、「Vポイント」と「PayPayポイント」の価値をさらに高め、幅広いシーンでの活用を実現します。

※1 2026年3月時点

キャッシュレス決済の普及により、ポイントは「貯めやすさ」だけでなく、「自分に合った使い方ができること」が重視されるようになっていきます。今回の相互交換は、こうしたニーズに応える取り組みです。

### <ポイントの相互交換概要>

「Vポイント」と「PayPayポイント」の交換は、PayPayアプリをダウンロード（※2）し、「V会員」と「PayPay」のアカウント連携をすることで、ユーザーの保有するポイントを相互交換できます。ポイントの相互交換は、PayPayアプリ内での実施となりますが、モバイルVカード、およびVポイントアプリ、三井住友カードVpassアプリ、VポイントPayアプリ、三井住友銀行アプリからも、ポイント交換の画面を確認できます。

ポイントの交換は、それぞれ1ポイント=1ポイントの等価交換で、1日1回100ポイントから可能、月間の交換上限は3万ポイントです。なお、「PayPayポイント」から交換した「Vポイント」は有効期限と利用先が限定されたポイントとなり、他社ポイントへの交換やV景品交換には利用できません。Vポイント運用やVポイントPayアプリへのチャージ、三井住友カードの支払額や振込手数料への充当等、一部のVポイント提携先やサービスで利用可能です。利用可能なVポイント提携先やサービスは今後順次拡大していく予定です（※3）。各ポイントの有効期限や利用先は以下の表をご確認ください。

※2 PayPayアプリを最新のバージョン（5.42.0）以上にアップデートしてご利用ください。ただし、アプリが更新されるまで時間がかかる場合があります。対象バージョンが表示されない場合は、時間を置いてからお試ください。お使いのバージョンの確認は、PayPayアプリの「アカウント」画面ページ下の「バージョン」から確認できます。

※3 利用先の詳細は[Vポイントサイト](#)でお知らせします。

	VポイントからPayPayポイント への交換	PayPayポイントからVポイント への交換
交換したポイントの 利用先	PayPayポイントが利用可能な 全てのサービス	一部のVポイント提携先・ サービス※
有効期限	なし	交換日から1年間※
交換レート	1pt=1pt	
最低交換ポイント	1回当たり100pt以上	1回当たり100pt以上
月間上限ポイント	毎月30,000ptまで	毎月30,000ptまで
交換回数	1日1回まで	1日1回まで
付与タイミング	即時	

※「PayPayポイント」から交換した「Vポイント」は有効期限があり、景品交換など一部利用先が制限されます。詳細はVポイントサイトをご確認ください。

※ 交換完了までに時間がかかる場合があります。

### ■「Vポイント」特長

「Vポイント」は、全国約16万店舗のVポイント提携先や世界約1億店舗のVisa加盟店で貯まる・使える共通ポイントです。Vポイント提携先では、お会計時に「モバイルVカード」や「Vポイントカード」を提示するとポイントが貯まり、Visa加盟店では、三井住友カードでお支払いすると決済ポイントが貯まります。貯まった「Vポイント」は、全国約16万店舗のVポイント提携先で1ポイント＝1円分として使うことができるほか、Visaのタッチ決済に対応している世界の約1億店舗でも利用できます。

### ■「PayPayポイント」特長

「PayPayポイント」は、有効期限がなく（※4）、失効を気にせず、ユーザーのタイミングで利用できる点が大きな特長です。「PayPay」や「PayPayカード」で買い物ができるお店やスポット、1,000万円以上で「PayPayポイント」が貯まり、PayPay加盟店での支払いはもちろん、アプリ内の「[PayPayポイント運用](#)」や「[PayPay証券](#)」、「[PayPayほけん](#)」等の金融サービスに利用できます。さらに、寄付やお賽銭、「PayPayカード」の支払いへの充当等、決済にとどまらない幅広い使い道をユーザーが選択し利用できます。

※4 LINEヤフーから発行されているPayPayポイント（期間限定）を除く。PayPayポイント（期間限定）の詳細は、[こちら](#)をご確認ください。

## <ポイントの交換方法>

### ・「Vポイント」から「PayPayポイント」への交換



※支払い方法を「クレジット」（青画面）にしている場合は、画面上段を右にスワイプし「PayPay残高」（赤画面）にて「チャージ」アイコンを選択してください。

### ・「PayPayポイント」から「Vポイント」への交換

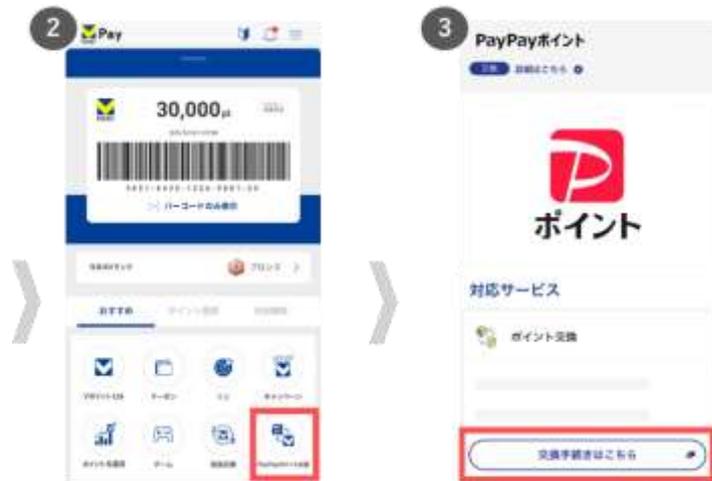


・三井住友銀行アプリ、三井住友カード Vpassアプリ、VポイントPayアプリからの交換

※Vポイントアプリからポイント交換画面に進むことも可能です。



三井住友銀行アプリ・三井住友カード Vpassアプリ・VポイントPayアプリから、モバイルVカードを開く



「おすすめ」タブにある「PayPayポイント交換」を選択

「交換案内ページ」から手続き開始  
※ PayPayアプリのポイント数入力画面に遷移します。

※三井住友銀行アプリ・三井住友カード Vpassアプリ・VポイントPayアプリから、モバイルVカードの表示、交換後のVポイントの確認等を行うには、ID連携が必要です。

三井住友カード、CCC MKHDおよびPayPayは、今後もユーザーの利便性向上を目的に、サービスの連携を強化しより自由で柔軟なキャッシュレス体験や、利便性の高いポイントサービスの提供を目指してまいります。

※ このプレスリリースに記載されている会社名、屋号および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

以 上